

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	利用者の転倒リスクの回避策として、シューズに鈴をつけて、ご本人の状況確認を行った。これ自体が身体拘束であり不適切なケアだと職員間で認識されていなかった。	利用者の権利と尊厳を守るケアを実践するために、職員の意識改革とリスクマネジメントのあり方を見直し、ケアの質の向上を目指す。	「身体拘束とは何か。」を職員が自主学習し、問題意識を持って勉強会を行う。学ぶことで利用者側に立つことや、利用者側に起こっていることを想像する力、アセスメントする力を高める取り組みをする。	1ヶ月
2	2	利用者にとってよりよいケアを実践できるように、職員一人一人が事業所の理念・方針について、意識を深め、業務に臨むことが望まれる。	施設全体の理念を念頭におきながら、グループホーム自体の基本理念を職員同士で話し合い、利用者が和やかに安心できるケアを、職員が一丸となって実践できる体制作りをする。	全職員で晴和苑グループホームの基本とするケアの在り方を話し合い、協議して事業所独自の基本理念・目標を作成する。	3ヶ月
3	3	災害時における利用者の非難誘導の方法を、法人としての取り組みはできているが、グループホーム独自の取り組みができていない。	半期に1回、緊急避難想定でグループホーム全体で非難誘導の訓練を行う。	災害時を想定し、緊急時職員非常呼集連絡表に従って呼集をかけ、全職員が揃うまでの時間の把握と各職員の役割の在り方をシュミレーションする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。